

令和3年度茨城県立太田第一高等学校・茨城県立太田第一高等学校附属中学校入学式
校長式辞

山の木々が芽吹き、生命の躍動が感じられる春爛漫のこの佳き日に、令和3年度茨城県立太田第一高等学校ならびに附属中学校の入学式を挙行できますことは、本校にとって、この上ない喜びであります。

先ほど入学を許可しました茨城県立太田第一高等学校附属中学校40名、茨城県立太田第一高等学校全日制153名、そして、定時制4名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生・教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、保護者、ご家族の皆様には、改めまして心からお祝いを申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、今があると思います。私たちは、大切なお子様を責任をもってお預かりいたします。教職員一同、お子様の健やかな成長と活躍を期して、精一杯の努力をいたす覚悟でございます。

本校は明治33年に開校した歴史と伝統のある学校です。昨年4月に創立120周年を迎え、10月に記念式典を挙行いたしました。新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小しての開催となりましたが、在校生が教室で会場からの中継を見守る中、大変厳かで心に残る式典となりました。また、新しい船出を後押しするかのように、ちょうど一年前に附属中学校が開校しました。併設型中高一貫教育校として、学年を超えて切磋琢磨し合う伝統を受け継ぐとともに、生徒一人ひとりの個性を伸ばす、特色ある学校づくりに取り組んでいます。ICTを活用した探究活動、科学教育、そして国際教育を柱とし、豊かな人間性と高い志を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成することを目指しています。本日入学した皆さんも、太田一高の一員であることを誇りとし、先輩方の輝かしい伝統を受け継ぐとともに、時代の変化に柔軟に対応し、世界をリードする気持ちをしっかり持っていただきたいと思います。本校での学びや挑戦が、将来の職業選択やキャリア形成、ひいては生き方そのものにもつながっていきます。しかし、3年間または6年間は、あっという間に過ぎてしまいます。悔いのない学校生活を送れるよう、失敗を恐れず、何事にも主体的に本気で取り組まれることを期待します。

主体性は、変化の時代を幸せに生き抜くための条件のひとつであると考えます。皆さんが活躍する社会は、急速な少子高齢化やグローバル化、さらにはAIに代表される新しいテクノロジーの登場などにより、今までの職業観や価値観が大きく変わることが予想されます。また、社会が複雑化、多様化し、従来の方法や考え方では解決できない課題に向き合うことや、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の両立に見られるような、人類が経験したことのない問題への対応を迫られることもあるでしょう。誰も正解を知らない不透明な状況で、全体として良い方向に進むためには、問題の本質を見極めた上で、自分や家族、組織や社会が大切にしているものを守るべく、常識や固定観念にとらわれずに、柔軟に、そして創造的に考える力が求められます。その判断の過程には、あなた自身の生き方、あるいは人生観が、必然的に反映されます。

本校の教育目標は、「自主的精神に満ちた、心身共に健康で、社会や国家に貢献し得る有為な人材の

育成」と設定していましたが、今述べた理由により、冒頭の「自主的精神に満ちた」の部分をも、「主体性を尊び」という表現に変えることにしました。自主性とは、やるべきことを率先して行うことを表しますが、主体性は、行動の目的や自分の意志、価値観に基づいて判断し、自己の責任のもとで行動する姿勢を表します。変化の時代においては、やるべきことを自ら考え、責任を持って取り組む人材が求められます。教育目標の変更は、そのような人材を育成する決意と、生徒の皆さんへの期待のメッセージでもあります。

なお、「主体性を尊び」という表現には、他者の主体性も同時に尊重するという意味も込めています。複雑な社会課題を解決するためには、異なる意見や価値観を対立させるのではなく、尊重し、受け入れた上で、いかに融合するか、言い換えるならば、肯定的関心に基づく合意形成の視点が重要です。そのような視点があってこそ、集団としての多様性が強みになり、互いに協力しながら問題解決にあたることができるからです。井の中の蛙になってはいけません。ヒトや社会、自然界の広大さ、深遠さを知る必要があります。新入生の皆さんには、本校での授業、行事、部活動、探究活動などを通して、自分の意見や考えを主張できる力を身につけるとともに、人と人とのつながりやコミュニケーションの大切さを実感していただけることを期待しています。

人と人とのつながりという点において付け加えるならば、ぜひ、本校で、信頼し合える友人や仲間を見つけてください。そのためには、自ら心を開き、自分にはないものを素直に学ぶという姿勢が必要です。共に悩んだり、励まし合ったり、将来の夢を語り合ったりした友人は、生涯にわたって心の支えになることでしょう。スヌーピーで有名な米国の漫画『ピーナッツ』に次のようなシーンがあります。毛布がトレードマークのライナスが「悲しみを癒してくれる薬ってどんなものかなあ」とつぶやいたとき、隣に並んで座っている親友のチャーリー・ブラウンは、「一粒のチョコレートと、友達が背中をポンと叩いてくれることだよ」と答えます。人とは何か、優しさとは何か。AIには決して到達できない領域があることを思い起こさせてくれます。

最後になりますが、皆様にご覧いただきありがとうございます。本校は、開かれた学校、魅力ある学校づくりの一環として、地域や外部機関との連携を強化していきたいと考えております。本校のさらなる充実・発展に向けまして、保護者の皆様には、忌憚のないご意見、ならびに、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして新入生の皆さん、私たちと一緒に、ワクワクする学校を創っていきましょう。

令和3年4月7日

茨城県立太田第一高等学校・茨城県立太田第一高等学校附属中学校

校長 鈴木 清隆